

平成30年第2回定例会

平成30年度補正予算（案）の概要

第2回定例会では、当初予算に計上した「ひき船建造事業費」の竣工を平成31年度とするための補正予算を計上したほか、北前船の寄港地として日本遺産に追加認定されたことに伴い地域活性化事業を実施するための「日本遺産地域活性化事業費」や、調査結果のより詳細な分析を行うために「子どもの生活実態調査事業費」を増額する費用などを計上しました。

[先議分]

| 会 計 名 | 補正予算額 |
|------------|------------|
| 港湾整備事業特別会計 | △3億3,000万円 |

【補正予算の主な内容】

ひき船建造事業費

△3億3,000万円（資料②1P）

（債務負担31年度3億3,000万円）

（当初）6億6,000万円→3億3,000万円

竣工が平成31年度となるため、当該年度に係る事業費を一部減額し、債務負担行為を設定

[通常分]

| 会 計 名 | 補正予算額 |
|---------------|-----------|
| 一 般 会 計 | 2,418万5千円 |
| 後期高齢者医療事業特別会計 | 257万3千円 |
| 合 計 | 2,675万8千円 |

【補正予算の主な内容】

◆ 一般会計

日本遺産地域活性化事業費

250万円（資料④1P）

- ・北前船ストーリー船上講座の実施
- ・周遊マップの作成
- ・調査、研究及びガイド養成事業への参加
- ・日本遺産認定記念シンポジウムの開催

子どもの生活実態調査事業費 218万円 (資料④1P)
(当初) 82万円→300万円
国庫補助金を活用するとともに調査結果のより詳細な分析を行うため、分析業務を外部へ委託

生活保護システム改修等経費 162万円 (資料④2P)
平成30年度から3年間にわたって実施される生活扶助基準額の見直し等に伴うシステム改修

旧し尿処理場施設保全事業費 1,400万円 (資料④2P)
・強風により破損した2、3次処理室の屋根等の撤去
・老朽化が進んでいる海水取水ポンプ施設建屋の解体

中小企業振興会議運営経費 50万円 (資料④2P)
中小企業の振興に資するため、平成30年第2回定例会に提案予定の「小樽市中小企業振興基本条例(案)」に基づき設置する会議に係る運営経費

(その他)

[歳入] 財政調整基金繰入金 1,774万円 (資料④2P)

[積立金] 寄附に伴う積立金 338万5千円 (資料④1・2P)
小樽ファンが支えるふるさとまちづくり資金基金積立金ほか3件

◆ 後期高齢者医療事業特別会計

制度改正周知関係経費 257万3千円 (資料④3P)
保険料軽減特例、高額療養費制度等の制度改正に係る周知文書を被保険者全員に送付